

授業科目名：	教員の免許状取得のための	単位数：	担当教員名：
環境法	選択科目	2単位	尾上伸一
			担当形態： 単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校 社会、高等学校 公民）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・「法学、政治学」 ・「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」		
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標			
環境保全のために存在する法の概要を知り、いかなる役割を果たしているかを知る。			
授業の概要			
環境は広い分野にまたがるが、主要な分野における個別法の概要を学んだ後、環境法の理念を知る。			
授業計画			
第1回：環境法とは 第2回：環境問題の歴史—公害問題の教訓 第3回：環境法の目標と基本的な考え方（1）持続可能な発展、環境権 第4回：環境法の目標と基本的な考え方（2）汚染者負担原則、予防原則 第5回：環境法の基本的メカニズム 第6回：都市景観管理 第7回：自然環境管理（1）自然公園 第8回：自然環境管理（2）野生生物、生物多様性第9回：水資源管理 第9回：水資源管理 第10回：廃棄物の管理と適正処理 第11回：環境アセスメント第12回：環境法の執行 第13回：国際環境問題 第14回：環境問題の解決と訴訟 第15回：総括と振り返り 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
スクーリングでは、第1回、第3～5回、第8回、第12回等を取り上げる。			
テキスト			
北村喜宣（2024）『環境法（第3版）』有斐閣ストゥディア、978-4-641-15124-6			
参考書・参考資料等			
交告尚史ほか（2020）『環境法入門（第4版）』有斐閣アルマ、978-4-641-22162-8			
学生に対する評価			
スクーリング評価（25％）、レポート評価（25％）、科目修得試験（50％）			